

2 地域生活支援事業のサービス量の見込み

サービス種別ごとの前計画における状況と本計画における見込みは次のとおりです。

■必須事業

(1) 相談支援事業

ア 相談支援事業

(7) 障害者相談支援事業

障がいのある人やその保護者または介護者等からの相談に応じ、必要な情報の提供を行うほか、必要な援助を行います。

<実績>

(年あたり)

区 分	18年度	19年度	20年度
	箇所	箇所	箇所
見込み	2	2	2
実 績	2	2	2

現在、2か所の事業所で実施され、市の相談窓口とも連携されていることから、適切な配置となっております。

<見込み>

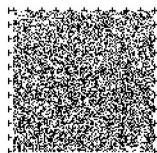
現在の事業所において引き続き実施し、相談支援体制の充実を図ります。

(年あたり)

区 分	21年度	22年度	23年度
	箇所	箇所	箇所
見込み	2	2	2

(1) 地域自立支援協議会

事業者および雇用、教育、医療等の関連分野の関係者により構成される組織であり、地域において障がいのある人の生活を支えるために相談支援事業をはじめとするシステムづくりの中核的な役割を果たします。



<実績>

前計画における見込みどおり，平成19年5月に，2市1町（函館市・北斗市・七飯町）により共同設置しています。

<見込み>

継続して実施し，機能の充実を図ります。

(ウ) 障害児等療育支援事業

障がい児等の地域生活を支えるため，療育に関する相談・支援，および地域の施設等に対する専門的な相談・支援を行います。

<実績>

(年あたり)

区 分	18年度	19年度	20年度
	箇所	箇所	箇所
見込み	1	1	1
実 績	1	1	1

専門的な機関1か所で実施されており，地域の療育に関する中心的な役割を担っています。

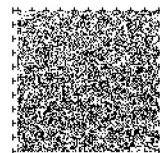
<見込み>

現在の事業所において引き続き実施し，機能の充実を図ります。

(年あたり)

区 分	21年度	22年度	23年度
	箇所	箇所	箇所
見込み	1	1	1

※ 前計画における平成23年度の見込みについては，市立障がい児・者施設の整備に伴う事業の開始を見込んで「2箇所」としていましたが，当該事業の開始予定が当初の平成23年度から24年度に延びたことにより，「1箇所」に修正しています。



イ 市町村相談支援機能強化事業

一般的な相談支援事業に加え、特に必要と認められる能力を有する専門的な職員を配置し、相談支援事業の機能を強化します。

<実績>

(年あたり)

区 分	18年度	19年度	20年度
	箇所	箇所	箇所
見込み	2	2	2
実 績	2	2	2

「ア 相談支援事業 (ア) 障害者相談支援事業」とともに、同一の事業所において実施されており、それぞれ体制の強化が図られています。

<見込み>

引き続き継続し、相談支援体制の充実を図ります。

(年あたり)

区 分	21年度	22年度	23年度
	箇所	箇所	箇所
見込み	2	2	2

ウ 成年後見制度利用支援事業

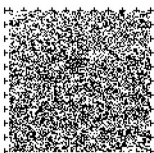
障がいがあることにより、判断能力が不十分で、成年後見制度の利用が必要な人に対し、親族等がないなどの一定の要件を満たす場合に、申立ての支援などを行います。

<実績>

(年あたり)

区 分	18年度	19年度	20年度
	件	件	件
見込み	2	2	2
実 績	0	0	0

要件を満たす対象者がいなかったため、利用者がいない状況にあります。



<見込み>

実績はないものの、障がいのある人の権利擁護のために必要な事業であり、引き続き継続します。

(年あたり)

区 分	21年度		22年度		23年度	
	人	件	人	件	人	件
見込み		2		2		2

(2) コミュニケーション支援事業

ア 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

聴覚、言語機能および音声機能障がいのため、意思疎通を図ることに支障がある、聴覚障がいのある人等に、手話通訳者や要約筆記者を派遣します。

<実績>

(年あたり)

区 分	18年度		19年度		20年度	
	人	件	人	件	人	件
見込み	120	1,330	122	1,351	124	1,372
実 績	77	1,610	84	1,633	90	1,790

聴覚障がいのある人等のコミュニケーションの保障手段として利用が増加しています。

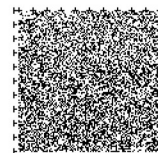
<見込み>

これまでの実績から、今後も利用が増加すると見込んでいます。

(年あたり)

区 分	21年度		22年度		23年度	
	人	件	人	件	人	件
見込み	103	1,823	116	1,856	130	1,890

※ 前計画において平成23年度の見込みを「130人，1,438件」としていましたが，利用件数の増加に伴い，件数を「1,890件」に修正しています。



イ 手話通訳者設置事業

聴覚、言語機能および音声機能の障がいのため、意思疎通を図ることに支障がある、聴覚障がいのある人等のために専任手話通訳者を配置します。

<実績>

本市の福祉事務所2か所に配置した2名の専任手話通訳者が、市の窓口等において、聴覚障がいのある人の各種手続きに係るサポートをしています。

<見込み>

今後も現状の人員を配置し、事業を継続します。

(3) 日常生活用具給付等事業

在宅の障がいのある人等に対し、日常生活の便宜や福祉の増進を図るため、日常生活用具を給付または貸与します。

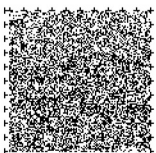
<実績>

(年あたり)

区 分		18年度	19年度	20年度
		件	件	件
計	見込み	1,526	5,446	5,874
	実績	1,773	5,296	5,672
介護・訓練支援用具	見込み	3	9	9
	実績	2	13	12
自立生活支援用具	見込み	80	109	119
	実績	14	72	60
在宅療養等支援用具	見込み	29	52	55
	実績	17	47	25
情報・意思疎通支援用具	見込み	71	159	172
	実績	44	128	120
排泄管理支援用具	見込み	1,339	5,105	5,506
	実績	1,691	5,023	5,445
居宅生活動作補助用具	見込み	4	12	13
	実績	5	13	10

平成18年度は、18年10月から19年3月までの半年分。

平成20年度の実績は、年間の見込みであり、ほぼ見込みどおりの実績となっています。



<見込み>

実績から、今後も利用件数が増加すると見込んでいます。

(年あたり)

区 分		21年度	22年度	23年度
		件	件	件
計	見込み	6,299	6,724	7,150
介護・訓練支援用具		8	7	7
自立生活支援用具		129	139	148
在宅療養等支援用具		58	61	64
情報・意思疎通支援用具		184	196	208
排泄管理支援用具		5,906	6,306	6,706
居宅生活動作補助用具		14	15	17

(4) 移動支援事業

移動が困難な障がいのある人に対し、外出時の移動を支援します。

<実績>

(月あたり)

区 分	18年度		19年度		20年度	
	人	時間	人	時間	人	時間
見込み	131	876	137	910	145	952
実績	68	929	78	887	77	922

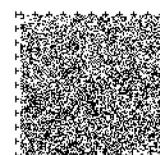
視覚障がいのある人の移動保障としての利用が多い状況ですが、利用範囲を拡大したことにより、知的障がいのある人の利用が少しずつ増加しています。

<見込み>

実績を踏まえるとともに、今後もニーズを把握し、事業の拡大に努めることから、増加すると見込んでいます。

(月あたり)

区 分	21年度		22年度		23年度	
	人	時間	人	時間	人	時間
見込み	96	966	131	1,010	163	1,054



(5) 地域活動支援センター

障がいのある人の地域生活を支援するため、通所により創作的活動または生産活動の機会および社会との交流の促進等の日中活動の場を提供します。

<実績>

(月あたり)

区 分	18年度		19年度		20年度	
	箇所	人	箇所	人	箇所	人
見込み	17	233	16	215	14	193
実 績	16	283	12	247	12	261

障がい福祉サービス事業へ移行した事業所が予定以上にあったため、箇所数は見込みより少ないものの、利用人数は見込みを上回っており、一定のニーズがあります。

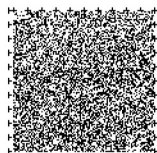
<見込み>

障がい福祉サービス事業へ移行する予定の事業者があることから箇所数は減少するものの、利用人数はほぼ現状のまま推移すると見込んでいます。

(月あたり)

区 分	21年度		22年度		23年度	
	箇所	人	箇所	人	箇所	人
見込み	12	254	11	250	11	260

※ 前計画における平成23年度の見込みについては、「14箇所、277人」としていましたが、実績および今後の障がい福祉サービス事業への移行予定から、箇所数、人数とも「11箇所、260人」に修正しています。



■任意事業

(1) 福祉ホーム

地域生活を支援するため、住居を必要とする人に、低額な料金で居室，その他の設備および日常生活に必要な便宜を提供します。

<実績>

(月あたり)

区 分	18年度		19年度		20年度	
	箇所	人	箇所	人	箇所	人
見込み	1	14	1	14	1	14
実 績	1	14	1	14	1	14

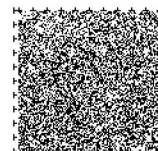
精神障がいのある人を対象とする定員15名の福祉ホームが設置されており，見込みどおりの実績となっています。

<見込み>

新たな福祉ホームを設置する予定がないことから，現状のまま推移すると見込んでいます。

(月あたり)

区 分	21年度		22年度		23年度	
	箇所	人	箇所	人	箇所	人
見込み	1	14	1	14	1	14



(2) 訪問入浴サービス事業

歩行が困難で移送に耐えられない等の事情のある在宅の身体障がいのある人に、訪問による入浴サービスを提供します。

<実績>

(年あたり)

区 分	18年度		19年度		20年度	
	人	回	人	回	人	回
見込み	7	250	7	250	7	250
実 績	9	266	9	346	8	248

ほぼ、見込みどおり推移しています。

<見込み>

利用対象となるための条件があることから、利用が大きく増えることは想定されず、ほぼ現状のまま推移すると見込んでいます。

(年あたり)

区 分	21年度		22年度		23年度	
	人	回	人	回	人	回
見込み	8	250	8	250	8	250

※ 前計画における平成23年度の見込みについては、「7人、250回」としておりましたが、実績を踏まえ、人数のみ「8人」に修正しています。

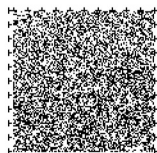
(3) 日中一時支援事業

介護している家族が一時的に休息がとれるようにするとともに、障がいのある人に日中活動の場を提供し、社会に適応するための日常的な訓練その他の支援を行います。

<実績>

(月あたり)

区 分	18年度		19年度		20年度	
	人	回	人	回	人	回
見込み	69	226	72	235	75	244
実 績	24	107	33	121	44	154



児童の利用が多く、夏休み等の長期休暇時に利用が増加します。

対象者は他のサービスを利用していることが多く、見込みを下回っています。

<見込み>

サービスの周知を図ることにより、増加すると見込んでいます。

(月あたり)

区 分	21年度		22年度		23年度	
	人	回	人	回	人	回
見込み	55	187	73	248	86	286

(4) 更生訓練費支給事業

旧体系の身体障害者更生援護施設に入所している人の、当該施設における訓練に係る費用を支給します。

<実績>

(月あたり)

区 分	18年度		19年度		20年度	
	人	人	人	人	人	人
見込み	19	19	19	19	19	19
実 績	14	15	15	15	9	9

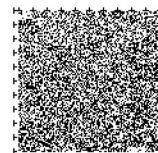
対象者が身体障がいのある人という制限があることもあり、見込みを下回っています。

<見込み>

サービスの周知を図ることにより、増加すると見込んでいます。

(月あたり)

区 分	21年度		22年度		23年度	
	人	人	人	人	人	人
見込み	19	19	19	19	19	19



(5) 生活支援事業（中途障害者生活訓練事業）

身体に中途障がいのある人に対し、自宅内およびその周辺地域等において、歩行訓練や日常生活に必要な訓練および指導等を行います。

<実績>

(年あたり)

区 分	18年度	19年度	20年度
	人	人	人
見込み	1	1	1
実 績	1	1	1

見込みどおりの実績となっています。

<見込み>

これまでの実績から、現状で推移すると見込んでいます。

(年あたり)

区 分	21年度	22年度	23年度
	人	人	人
見込み	1	1	1

(6) 点訳奉仕員等養成事業

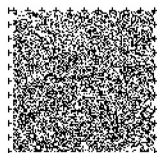
手話、要約筆記、点訳または朗読に必要な技術等の指導をそれぞれの講習において行い、手話通訳者や要約筆記者、点訳者等を養成します。

<実績>

(年あたり)

区 分	18年度	19年度	20年度
	人	人	人
実 績	143	117	114
手話	59	68	63
要約筆記	12	10	7
点訳	15	15	4
朗読	57	24	40

前計画における見込量を設定せずに、それぞれの講習を40名の定員で実施してきましたが、点訳や要約筆記の受講者が定員を大きく下回っている状況です。



<見込み>

受講者の少ない講習については開催回数を増やすなど、機会を拡大し、受講者の増加を図っていることから、講習の定員で見込んでいます。

(年あたり)

区 分	21年度	22年度	23年度
	人	人	人
見込み	350	350	350
手話	120	120	120
要約筆記	150	150	150
点訳	40	40	40
朗読	40	40	40

(7) 社会参加促進事業

ア 運転免許取得助成事業

就労その他の社会参加を促進するため、身体障がいのある人を対象として自動車運転免許の取得に係る費用の一部を助成します。

<実績>

(年あたり)

区 分	18年度	19年度	20年度
	人	人	人
見込み	5	5	5
実 績	5	3	5

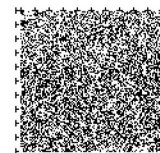
見込量を下回った年度があるものの、一定のニーズはあるものと考えられます。

<見込み>

これまでの実績から、利用者数の大きな増加は想定されませんが、社会参加のためにも必要な事業であり、前計画で設定した人数と同数を見込んでいます。

(年あたり)

区 分	21年度	22年度	23年度
	人	人	人
見込み	5	5	5



イ 自動車改造助成事業

就労その他の社会参加を促進するため、重度の身体障がいのある人が自ら所有する自動車を改造した場合に、その費用の一部を助成します。

<実績>

(年あたり)

区 分	18年度	19年度	20年度
	人	人	人
見込み	8	8	8
実 績	6	4	8

見込量を下回った年度があるものの、一定のニーズはあるものと考えられます。

<見込み>

これまでの実績から、利用者数の大きな増加は想定されませんが、社会参加のためにも必要な事業であり、前計画で設定した人数と同数を見込んでいます。

(年あたり)

区 分	21年度	22年度	23年度
	人	人	人
見込み	8	8	8

